

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-1		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力の世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	多様な文化芸術の創造と創造環境の整備		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	企画課	文化デザイン課	
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	<p>質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。</p> <p>新たに整備する文化施設を中心に既存の施設を多様な文化芸術活動の拠点として有効に活用するための取り組みを積極的に図り、区民が良質な文化芸術に接する機会を増加させます。</p> <p>大学やNPO、企業等と連携を図りながら地域における文化芸術活動を牽引、支援するとともに文化の創造・推進を担う人材を育成します。</p>						
9 施策の現状と課題	<p>○ 令和元年度に芸術文化劇場・西口公園野外劇場が完成した。またHareza池袋は、ハレザタワーの開業により、グランドオープンを迎えた。これにより区内の文化芸術に関するハード整備が一つの節目を迎えたことから、今後はこれらを活用したソフト事業の充実を図る必要がある。</p> <p>○ 豊島区には多くの文化関連施設・産業が集積しており、区民や来街者の文化芸術活動を誘引するとともに、地域の団体や企業、NPO等による特色のある文化芸術活動が様々な形で展開されている。こうしたあらゆる主体が関わる活動を次世代に継承していくため、令和2年度に『しま文化の日条例』を制定しており、本条例の目的を踏まえた取組を進める必要がある。</p> <p>○ 幅広い文化芸術活動をより一層活発・充実化していくためには、文化を支え、発展させる人材の育成が、今後さらに必要となっている。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々なイベントが中止・延期や規模縮小などを余儀なくされている。</p> <p>○ SDGsの考え方が社会的に浸透し、誰もが等しく文化芸術の恩恵を享受できるようにすることが求められている。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	<p>○ コロナ禍においても、参加・鑑賞の機会が失われることがないよう、オンライン化を含めた事業を実施していく。</p> <p>○ としま文化の日の目的を踏まえ、豊島区の文化を受けついでいく次世代の育成を進める。</p>						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	424,322	481,349	9,448,570	15,611,498	1,341,461	
	うち一般財源分(千円)	424,401	478,064	1,037,787	623,081	1,322,439	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	池袋演劇祭の入場者数【人】	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績値	28,040	31,980	34,992	30,560	0
		達成率	70.1%	80.0%	87.5%	76.4%	0.0%
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	D:大きく未達成
	指標重要度の割合(%)	33	指標設定理由 若手の舞台関係者の発表及び成長の場であるとともに、区民が多様な文化に身近に接する機会ができることを示す指標であるため。				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	文化芸術創造支援事業における創造活動件数(にしがも創造舎におけるワークショップ参加者数)【件】	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値	1,229	948	176	131	98
		達成率	61.5%	47.4%	8.8%	6.6%	4.9%
		達成状況	C:未達成	C:未達成	D:大きく未達成	D:大きく未達成	D:大きく未達成
	指標重要度の割合(%)	33	指標設定理由 文化に触れる機会の増加と文化の担い手を育成する両面を備えた指標であるため。				
	指標(3)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
子ども向け演劇公演と関連イベント参加人数【人】	目標値	2,500	2,500	2,500	2,300	2,300	
	実績値	3,233	2,771	2,056	1,634	6,077	
	達成率	129.3%	110.8%	82.2%	71.0%	264.2%	
	達成状況	A:達成	A:達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	S:目標超過達成	
指標重要度の割合(%)	34	指標設定理由 将来の文化の担い手である子ども達の文化に触れる機会の増加と文化の担い手を育成する両面を備えた指標であるため。					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	91.5%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	<p>○ 池袋演劇祭の参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、令和2年度の開催が見送られた。令和3年度の開催については、今後の状況を踏まえつつ、オンライン参加などの手法を検討する必要がある。</p> <p>○ にしがも創造舎における文化芸術創造支援事業における創造活動件数は、平成30年度以降、旧朝日中学校から旧真和中学校に移転したことで、劇団等への貸し出しが困難となり、大きく減少している。</p> <p>○ 子ども向け演劇公演と関連イベント参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度はオンラインによる開催とした。今後も状況を踏まえつつ、オンライン鑑賞などの環境整備を検討する必要がある。(※令和2年度はオンライン視聴者数を含む延べ人数)</p>					
	【指標重要度の割合の設定理由】						
豊島区内における幅広い文化芸術活動の充実を図り、国際アート・カルチャー都市の実現のためには、次世代の文化によるまちづくりを担う人材育成は欠かせない。そのため、あらゆる世代の人が文化に参加・創造することができよう、様々な世代を対象にした指標について、その重要度が同程度になるように設定した。							

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する 事務事業評価 を踏まえた分析	当施策の事務事業は、良質な文化的なプログラムを提供する事業を中心に構成されており、SDGsの理念を実現するため、誰もが等しく文化芸術の恩恵を享受できる事業となっている。また、単に鑑賞するだけでなく、作り手として参加できるワークショップを展開している事業も多く、豊島区の文化を次世代に継承していくための担い手を育てる効果が期待できるものとなっている。
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	国際アート・カルチャー都市推進事業、芸術文化劇場関係経費、次世代育成事業助成(としま未来文化財団事業助成)については、それぞれ文化芸術活動への区民参加、区内外の方が芸術を鑑賞することができる環境の提供、次世代を担う子ども達に文化体験を担う重要な事業であるから、それぞれ★★★とした。 一方で、としまチケットセンター、としま未来文化財団運営助成事業については、区の文化施策を支える重要な基盤ではあるが、区民への直接的な影響は小さいものであるとして、貢献度は★とした。また、旧真和中学校に移転後、にしがも創造舎としての機能が果たせなくなっている芸術文化創造支援事業も★とした。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	○ 芸術文化創造支援事業については、旧朝日中学校で運営していた時期と同様に、地域に根差した文化創造の拠点としての復活を目指すため、運営場所の移転を含む事業の在り方の見直しを行っていく。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	○ハード整備は節目を迎えたことから、今後はソフト面の充実を図る必要がある。 ○特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を最小限とするため、新たな生活様式に適合した事業を展開していく必要があることから、事業ごとにその対策経費等を必要に応じて計上していく。 ○豊島区の文化を次世代に継承していくため、としま文化の日記念事業に係る経費は随時、事業化するための予算を計上していく。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0101-03	国際アート・カルチャー都市推進事業		事業費合計(千円)	42,051	45,850	58,346	30,718	21,792
			うち一般財源分(千円)	42,051	45,850	46,404	30,718	21,792
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	S:拡充	S:拡充	A:現状維持
0502-01	芸術文化劇場関係経費		事業費合計(千円)	52,176	89,966	9,040,720	8,760,028	406,132
			うち一般財源分(千円)	52,176	89,966	647,876	13,010	406,132
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0502-02	としまチケットセンター運営経費		事業費合計(千円)				40,000	50,740
			うち一般財源分(千円)				40,000	50,740
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				A:現状維持	B:改善・見直し
0502-03	舞台芸術交流センター管理運営経費		事業費合計(千円)	193,089	190,344	199,785	209,959	220,338
			うち一般財源分(千円)	189,999	187,406	197,522	207,342	217,614
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し	B:改善・見直し
0502-04	池袋西口公園野外劇場関係経費		事業費合計(千円)				203,290	126,669
			うち一般財源分(千円)				117,402	123,068
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				A:現状維持	B:改善・見直し
0502-05	文化芸術創造支援事業経費		事業費合計(千円)	5,202	3,766	5,446	10,611	23,412
			うち一般財源分(千円)	7,752	3,766	5,443	10,608	15,909
			現状評価	A:良好	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し	B:改善・見直し
0502-06	ぞうしがやこどもステーション運営事業経費		事業費合計(千円)	5,920	7,032	7,750	7,671	8,321
			うち一般財源分(千円)	5,689	6,685	4,019	1,751	7,441
			現状評価	B:普通	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続	A:改善・継続
0502-07	池袋モンパルナス回遊美術館事業経費		事業費合計(千円)	6,000	7,000	8,700	8,700	8,700
			うち一般財源分(千円)	6,850	7,000	8,700	8,700	8,700
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	B:改善・見直し

## 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

0502-08	子どものための文化体験事業経費		事業費合計(千円)	14,474	14,474	14,474	12,916	6,240
			うち一般財源分(千円)	9,974	9,974	10,674	8,816	6,240
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	B:改善見直し	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し	B:改善・見直し
0502-09	次世代育成事業助成(としま未来文化財団事業助成)		事業費合計(千円)	5,502	5,944	5,906	9,063	11,172
			うち一般財源分(千円)	5,502	5,944	5,906	9,063	11,172
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:現状維持
0502-10	文化芸術振興事業助成(としま未来文化財団事業助成)		事業費合計(千円)	84,046	70,962	83,492	84,004	69,816
			うち一般財源分(千円)	87,046	70,962	83,492	84,004	69,816
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:現状維持
<b>20 施策を構成する一般事業</b>								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0502-11	としま未来文化財団運営助成		事業費合計(千円)	119,884	137,391	127,823	179,004	176,906
			うち一般財源分(千円)	119,884	137,391	127,823	179,004	176,906
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度			★★	★★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0502-12	としま区民センター関係経費		事業費合計(千円)				6,161,517	298,451
			うち一般財源分(千円)				14,546	294,137
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度				★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-2		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	地域文化・伝統文化の継承と発展		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	生活産業課	文化デザイン課	庶務課
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。						
9 施策の現状と課題	<p>◆江戸時代の豊島区地域は、江戸の近郊の農村として発展し、明治時代以降、鉄道の施設や道路整備とともに急激に都市化が進み、商工業地域住宅地域とが混在する地域に大きく変貌を遂げた。こうした歴史的経緯を持つ豊島区には自由学園明日館、雑司が谷鬼子母神堂、雑司が谷宣教師館、金剛院山門、長崎獅子舞、富士元囃子、鈴木信太郎信太郎記念館等貴重な有形無形文化遺産がある。また、「長崎アトリエ村」や、大都映画撮影所跡、江戸川乱歩旧宅、「トキワ荘」跡など、それぞれの時代を創ってきた多様な文化遺産や旧跡が存在している。</p> <p>◆当区は居住者の移転入等に伴う流動性が高く、ファミリー世帯に比較して、単身世帯の割合が多いことから、地域文化の継承が難しく、地域の歴史や伝統芸術について、十分に知られていない状況がある。</p> <p>◆地域固有の文化資源を保存・継承するとともに、発信を行う拠点の整備が必要になっており、前述のとおり郷土資料館による歴史・文化の普及、発信事業や鈴木信太郎記念館が開館した。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>◆SDGsの考え方が社会的に浸透し、誰もが等しく文化芸術の恩恵を享受できるようにすること、伝統文化や地域文化に誇りと愛着をもてることが求められている。</p> <p>◆SDGsの理念からも、地域の文化財が適切に保存され、将来にわたって持続的に活用されていくことが必要である。</p> <p>◆としま文化の日条例が制定され、あらゆる主体が文化芸術活動に参画し、豊島区の文化を次世代に継承することが求められる。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	<p>◆伝統工芸・美術分野において区民が文化に親しめるよう鑑賞・交流の機会を提供する。</p> <p>◆地域の有形・無形文化財の保存を推進する。</p> <p>◆郷土資料館における企画展や収蔵資料展の実施、雑司が谷旧宣教師館及び鈴木信太郎記念館の周知を図るための各種イベントの実施。また、飯能倉庫の設置・移転を進め、適切な資料保管の環境を整える。</p>						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	221,864	617,572	222,969	221,421	301,317	
	うち一般財源分(千円)	206,443	393,723	210,841	210,238	276,036	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値	31.5	31.5	31.5	31.5	31.5
		実績値	26.5	33.3	35.2	32.7	38.8
		達成率	84.1%	105.7%	111.7%	103.8%	123.2%
		達成状況	B: 相当程度達成	A: 達成	A: 達成	A: 達成	A: 達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 地域文化・伝統文化の継承・発展の趣旨が区民に浸透しているか、実践されているかを示す指標であるため。				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値	12,000	18,000	18,000	18,000	18,000
		実績値	16,215	33,219	51,934	41,525	27,751
		達成率	135.1%	184.6%	288.5%	230.7%	154.2%
	達成状況	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 区民が歴史文化施設を楽しんでいるかを示す指標であるため。				
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	138.7%	【達成状況分析】				
	S: 目標超過達成		<p>新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言で郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館は、約2か月間の臨時休館の上、雑司が谷旧宣教師館は5年に1度の大規模修繕により約5か月間の休館があった。それに関わらず、郷土資料館は、魅力的な収蔵資料展や企画展を実施し、昨年度の入館者数を上まることができた。</p> <p>区民意識調査における肯定的な回答をする区民の割合は、この5年間で最も高い値となった。</p>				
			【指標重要度の割合の設定理由】				
			<p>「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について、肯定的な回答をする区民の割合は、豊島区基本計画策定のための区民意識調査で得たものであり、成果指標である。</p> <p>一方、歴史文化施設への入館者数はこの成果指数に対する活動指数であることから、同一の割合での設定とした。</p>				
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	<p>◆各種講座や遺跡見学会ほか、学校での出前講座を実施するなど、文化財の保存・活用に資する多様な取り組みを積極的に行っており、文化財の指定・登録も増加している。長期的成果指数である区民意識調査結果の向上の兆しがみられる。</p> <p>◆郷土資料館は平成29年のリニューアルオープンにより、大きく入館者数を伸ばした。その後は落ちついてきたが、令和2年度は美術分野、文学・マンガ分野との連携による企画展や収蔵資料展を開催したことにより、入館者数を伸ばした。</p> <p>◆雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館の文化財(建造物)では、場所や建物の魅力を活かしたイベント等を開催し、周知活動を実施している。</p>						
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	<p>本事業は地方公共団体における文化資源の保護に資する事業群であり、一概に貢献度を測ることは困難であるものの、13の指標設定理由にもあるように、区民に親しまれる歴史文化施設にしていくことが重要な要素と考える。そのため、令和元年度より来場者数が増えた収蔵作品等3分野企画展を★★★とした。一方、定期的な業務となっている美術作品等展示・管理及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来場者数が大きく落ち込んだ熊谷守一美術館管理運営事業を★とし、それ以外は★★とした。</p>						

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	<p>◆区民の文化財に対する関心を高めていくため、文化財に関する普及・啓発事業の一層の充実を図る。</p> <p>◆郷土資料館は、当区の特徴である郷土分野、美術分野、文学・マンガ分野の3分野連携し、教育的ニーズだけでなく、美術ファンや文学ファンも訪れていただくことにより、入館者数を伸ばし、より多くの方々に当区の芸術文化に触れていただく。</p> <p>◆雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館の文化財(建造物)では、ギャラリートークだけではなく、数々のイベントを実施し、また建物の個性を多様な媒体で周知し、来館者の増加につなげていく。</p>
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	<p>◆令和5年度に豊島区伝統工芸保存会が30周年を迎えることから、令和4年度中に記念誌の発行を予定しており、必要経費相当分について補助金を増額する。</p> <p>◆これまで郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館において、展示リニューアルを行うことにより来館者が増加する傾向にあることから、今後も新しい展示を工夫することで入場者数を高い水準で維持することができると考えられる。そのための予算を適切に計上していく。</p>

## 19 施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1301-07	文化財保存活用事業	事業費合計(千円)	71,218	87,082	71,986	71,239	76,010	
		うち一般財源分(千円)	63,585	78,976	62,503	62,144	70,299	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続
0502-14	鈴木信太郎記念館の保存・活用	事業費合計(千円)	50,588	188,864	12,321	11,924	23,269	
		うち一般財源分(千円)	50,588	188,864	12,321	11,460	23,269	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	A:現状維持		A:現状維持	A:現状維持
0502-15	郷土資料館管理運営	事業費合計(千円)	18,605	49,335	48,146	50,261	64,848	
		うち一般財源分(千円)	18,275	48,695	47,556	49,663	64,311	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:改善・継続
0502-16	雑司が谷宣教師管理運営	事業費合計(千円)	10,644	8,769	9,571	9,630	18,910	
		うち一般財源分(千円)	10,644	8,749	9,551	9,610	18,884	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:現状維持
0502-18	熊谷守一美術管理運営	事業費合計(千円)	23,342	234,045	24,257	24,849	31,630	
		うち一般財源分(千円)	23,342	23,405	24,257	24,849	31,630	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★	★	★★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	A:現状維持	B:改善・見直し	A:現状維持	A:改善・継続
0502-20	豊島区収蔵作品等3分野企画展事業	事業費合計(千円)					14,683	
		うち一般財源分(千円)					14,683	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度					★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					A:改善・継続

## 20 施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
0501-29	伝統工芸振興事業	事業費合計(千円)	9,806	10,350	12,164	11,591	10,563	
		うち一般財源分(千円)	9,806	10,148	12,164	11,591	9,813	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0502-13	(仮称)芸術文化資料館開設準備事業	事業費合計(千円)	27,362	29,148	33,631	31,353	26,935	
		うち一般財源分(千円)	19,904	24,907	31,596	30,347	18,605	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し	一般事業(評価対象外)
0502-17	雑司が谷旧宣教師館文化財保存修繕経費	事業費合計(千円)					23,936	
		うち一般財源分(千円)					14,009	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度					★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性					一般事業(評価対象外)
0502-19	美術作品等展示・管理	事業費合計(千円)	10,299	9,979	10,893	10,574	10,533	
		うち一般財源分(千円)	10,299	9,979	10,893	10,574	10,533	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★	★★	★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	B:改善・見直し	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-3		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	交流の推進によるにぎわいと発展の共有		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課	企画課	
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	鉄道事業者や様々な交通ネットワーク、周辺自治体と様々な事業で連携し、まちのにぎわいをつくっていきます。						
	地方都市との交流を推進し、文化・観光を始めとした取組みを実践します。						
	国際アート・カルチャー都市として、在住・訪日外国人にも魅力的なにぎわいを創出していきます。						
9 施策の現状と課題	豊島区は、23区の北西部に位置し、埼玉県や周辺自治体との玄関口となっている。乗降客数第2位の池袋を中心に、各方面を結ぶ5社13路線の鉄道が乗り入れ、池袋駅における1日乗降客数は約267万人にのぼる(平成29年度実績)。東武東上線、西武線沿線をはじめ国内外の交流都市は86自治体へのぼり、沿線自治体PRや物産交流など、多方面の交流を行っている。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、東京都を訪れる外国人旅行者も増加を続けてきていた。こうした状況を踏まえ、政府は2020年における訪日外国人旅行者数の目標を4000万人としていたが、新型コロナウイルス感染症が地球規模で蔓延したことに伴い、オリ・パラ大会の延期のみならず、4月期の訪日外国人旅行者が対年同月比99.9%減という未曾有の落ち込みを見た。以後も感染拡大防止のため人流を抑制する措置が取られたため長期間にわたり文化・観光事業に対する消費が落ち込むこととなった。また、2021年に延期となったオリ・パラは無観客での開催が決まったことで外国人観光客を発端とするインバウンド需要についても見込めない状況となった。						
11 今年度の施策の取組方針	高いブランド力、特色ある文化的背景を持つ地域において、地域資源を活かしたプロジェクトを区民との協働により推進する。						
12 投入コストの推移	費 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	9,182	8,062	12,246	10,064	9,593	
	うち一般財源分(千円)	6,212	5,173	5,712	5,712	9,593	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「観光情報や物産など、地方の情報に接することができる」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】	目標値	25	26.25	27.5	28.75	30
		実績値	20.4	22.5	22.5	22.4	22.4
		達成率	81.6%	85.7%	81.8%	77.9%	74.7%
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由 区民が他自治体との交流を感じることができていることを示す指標であるため					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	74.7%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	平成26年に消滅可能性都市と発表された豊島区は、対策の1つとして「様々な地域との共生」を打ち出している。現在、86自治体と様々な交流を行っており、本区イベントでの物産展・出展など、交流都市の観光案内や名産品販売等を通して、地方都市の魅力を発信している。					
		【指標重要度の割合の設定理由】 都市の賑わいと、地方の豊かな自然環境及び名産品は、違った魅力を持つものであり、地方の魅力にさらに接したい本区住民は多いものと考えられる。地方の魅力を効果的に発信することにより、人的な相互交流が活性化され、地域経済の活性化に貢献するものと考えられるため。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	本区は86自治体と、観光・教育・産業・防災といった分野での連携・協力を行っており、相互発展に寄与する仕組みを整えている。本区の強み及び交流都市の強みを生かして、相互に発展する関係を今後も継続していく。特に池袋駅は各方面を結ぶ5社13路線の鉄道が交わる一大ターミナル駅となっており、その特徴を活かして各沿線の自治体に参加する「西武線沿線サミット」「東武東上線沿線サミット」事業を展開している。沿線各地の魅力を相互に発信し、豊島区を含む沿線自治体の発展に寄与するよう今後も連携していく。						
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	【貢献度の設定根拠】上記15に記載のとおり、本区は57の多種多様な自治体と様々な分野で連携・協力をしており、各自治体の魅力を相互補完し、ともに発展していくために今後も交流を続けていく方針である。そのような「ひと」や「もの」の交流を深め、自治体間の交流に直接的に貢献する事業を★★★、様々な地域と共生し、ともに豊かな生活を実現し、地域活性化に貢献する事業を★★とする。						

## 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	持続可能な「地方との共生」を目指して、区民や民間事業者と共同し、ファーマーズ・マーケットを地方の交流都市の6次産業化の舞台として活用するなど、従来にはない「新しい交流のかたち」も含め、相互の観光分野の活性化を推進する。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	地域に根差した観光情報発信をすすめるにあたり、過重な負荷がかかることなく持続的に進められる仕組みを構築したうえで安定的な運用をおこなう。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
0503-14	都市交流推進事業	事業費合計(千円)	2,942	1,784	1,688	1,688	6,257	
		うち一般財源分(千円)	2,942	1,784	1,688	1,688	6,257	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		A:現状維持
0503-13	インバウンド冊子作成 (インバウンド推進事業)	事業費合計(千円)	5,940	5,778	9,504	7,322		
		うち一般財源分(千円)	2,970	2,889	2,970	2,970		
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	—(再掲分)	—(再掲分)	—(再掲分)	—(再掲分)	
	事業特性2	国・都補助+区上乗せ	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持		
0101-06	地方との共生推進事業	事業費合計(千円)	300	500	1,054	1,054	3,336	
		うち一般財源分(千円)	300	500	1,054	1,054	3,336	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		A:現状維持

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	8-1-4		
2 地域づくりの方向	伝統・文化と新たな息吹きが融合する魅力を世界に向けて発信するまち		
3 政策	アート・カルチャーによるまちづくりの推進		
4 施策	アート・カルチャーによる魅力の発信【重点】		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化デザイン課	文化観光課	
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	文化を媒体として、世界に豊島区の魅力をアピールし、バーチャルだけでなくリアルに世界とつながり、新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像を発信していきます。 マンガの創成期から最先端のマンガ・アニメまで代を超えたマンガ文化が融合するまち、池袋演劇祭、フェスティバル/トーキョー※など舞台芸術のまちの魅力を世界に向けて発信します。						
9 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和元年度に芸術文化劇場・西口公園野外劇場が完成したことにより、区内の文化芸術に関するハード整備が節目を迎えたことから、今後はこれらを活用した区の魅力発信に取り組む必要がある。</li> <li>○ 池袋エリアでは、東京芸術祭やフェスティバル/トーキョーなど、国際的な舞台芸術祭が行われていることから、舞台芸術のまちとしての魅力発信に磨きをかける必要がある。</li> <li>○ 国際アート・カルチャー都市としての魅力を向上し、新型コロナウイルス感染症の終息後のインバウンド獲得に向けた発信に取り組む必要がある。</li> </ul>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々なイベントが中止・延期や規模縮小などを余儀なくされている。</li> <li>○ SDGsの考え方が社会的に浸透し、誰もが等しく文化芸術の恩恵を享受できるようにすることが求められている。</li> </ul>						
11 今年度の施策の取組方針	○ コロナ禍にあっても、国際アート・カルチャー都市として、「まち全体が舞台の誰もが主役の劇場都市」であることの魅力発信を継続していく。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	22,595	85,633	263,704	376,523	66,659	
	うち一般財源分(千円)	22,595	85,633	93,053	98,810	65,710	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	フェスティバル/トーキョーの入場者数(都市型総合芸術フェスティバル「東京芸術祭」の入場者数)【人】	目標値	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
		実績値	83,014	107,770	84,589	39,147	32,135
		達成率	110.7%	143.7%	112.8%	52.2%	42.8%
		達成状況	A: 達成	S: 目標超過達成	A: 達成	C: 未達成	C: 未達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 入場者数は、豊島区のアート・カルチャー都市としての魅力がどれくらい発信され、認知されているかを示す指標であるため。				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	文化プログラムの認定事業数	目標値	20	60	60	60	60
		実績値	1	16	7	6	0
		達成率	5.0%	26.7%	11.7%	10.0%	0.0%
		達成状況	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成	D: 大きく未達成
	指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由 東京五輪文化プログラムを通して、どの程度文化芸術の創造を国内外に発信できたかを示す指標であるため。				
	指標(3)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
庁舎まるごとミュージアム回廊美術館のべ展示点数【点】	目標値	500	500	500	500	500	
	実績値	727	1,680	1,645	2,514	1,726	
	達成率	145.4%	336.0%	329.0%	502.8%	345.2%	
	達成状況	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	
指標重要度の割合(%)	10	指標設定理由 庁舎まるごとミュージアム構想に基づき、区民目線で新たな文化的事業の発信をしていくという意味で、重要な指標になるため。					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	55.9%	【達成状況分析】				
	C: 未達成	<p>○フェスティバル/トーキョー(東京芸術祭)の入場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン化などに取り組んだものの、例年よりも落ち込んだ。(※令和2年度はオンライン視聴者数も含む。)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大の影響による東京2020大会の延期を受け、文化プログラム(参画プログラム)の認定事業数は大きく落ち込んだ。</p> <p>○庁舎まるごとミュージアムは、美術作品の展示替え頻度が低下したものの、年間を通じた展示点数としては平成30年度並みを維持した。</p> <p>【指標重要度の割合の設定理由】</p> <p>フェスティバル/トーキョーは、東京芸術祭の一部となり、豊島区の国際アート・カルチャー都市構想実現の大きな柱であるため、重要度を上げた。 文化プログラムは伸び悩んでいるものの、東京2020大会に向けた機運醸成にとって重要であったことから、次いで高い重要度とした。 庁舎まるごとミュージアム回廊美術館のべ展示点数は上記2点と比べ、波及効果が限定的であると考えられるので、このように按分した。</p>					



# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	フェスティバル/トーキョーは、池袋を中心とした舞台芸術の創造・発信による地域の活性化とイメージアップにつながる事業であり、東京芸術祭の基幹事業ともなっている。国際アート・カルチャー都市構想実現に向けて大きく寄与していると考えられる。また、東アジア文化都市事業は区が目指す国際アート・カルチャー都市構想実現戦略の国際戦略に位置付けられるものであり、東アジア文化都市2019豊島のレガシーを引き継ぐ事業として重要である。いずれの事業も区の魅力の国内外への発信に資する事業となっている。
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	「フェスティバル/トーキョー」開催事業は、舞台芸術のまちを対外的に魅力発信を行うにあたり、波及効果が大いことから、高い貢献度とした。一方で、芸術顧問関係経費については、区の文化施策の形成にとって重要な意味を持つが、施策への寄与においては、間接的な効果となることを踏まえて貢献度を設定した。
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	Hareza池袋をはじめとする国際アート・カルチャー都市の基盤となる施設整備が完了した。これらの施設を活用し、良質な文化芸術事業を展開することで、豊島区の魅力を広く国内外に発信していく。また、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限にするためにも、オンライン化をはじめとした新しい生活様式に適応した事業としていく。
18 新規・拡充事業の効果や必要性	○既存の事業については、新しい生活様式に沿った事業を実施できるよう、必要に応じて、オンライン化や新型コロナウイルス感染症対策に係る拡充を行っていく。 ○豊島区の文化芸術の魅力発信に資する事業について、官民連携での事業実施も含め、必要な予算を計上していく。

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0502-22	「フェスティバル/トーキョー」開催事業	事業費合計(千円)	10,000	10,000	23,600	23,600	21,770
		うち一般財源分(千円)	10,000	10,000	23,600	23,600	21,770
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1 任意の事業	施策貢献度	★★	★	★★	★★	★★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	B:改善・見直し	B:改善・見直し
0502-24	庁舎まるごとミュージアム運営事業	事業費合計(千円)	2,895	6,434	9,954	7,210	5,973
		うち一般財源分(千円)	2,895	6,434	9,954	7,210	5,973
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1 任意の事業	施策貢献度	★	★★★	★★	★★	★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	一般事業(評価対象外)	A:改善・継続	A:現状維持
0101-04	東アジア文化都市推進事業	事業費合計(千円)	9,700	69,199	230,150	345,713	18,416
		うち一般財源分(千円)	9,700	69,199	59,499	68,000	17,467
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1 任意の事業	施策貢献度	★★★	★★	★★★	★★★	★★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	一般事業(評価対象外)	D:終了	A:現状維持
20 施策を構成する一般事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0502-23	第20回アシテジ世界大会開催支援経費	事業費合計(千円)					14,250
		うち一般財源分(千円)					14,250
		現状評価					
	事業特性1 任意の事業	施策貢献度					★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性					D:終了
0502-24	芸術顧問関係経費	事業費合計(千円)					6,250
		うち一般財源分(千円)					6,250
		現状評価					
	事業特性1 任意の事業	施策貢献度					★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性					A:現状維持